
蒼い心色

昼夜の迷人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蒼い心色

【Zコード】

Z6529Y

【作者名】

昼夜の迷人

【あらすじ】

ルミナは、男勝りで男口調、喧嘩を売られれば即買ってしまう、男前なイケメン女性。

そんなルミナが突然蒸発してしまった馬鹿親父を探すため、旅費を稼ぐために賞金稼ぎの仕事をしながら旅をするに。

しかし、旅に出た矢先、無愛想な少年が厄介事を運んできて……！？

登場人物

ルミナ・カディック

物語の主人公。男勝りで強気、売られた喧嘩は絶対買う男前イケメン女性（19）。突然蒸発し、変な書き置きを置いていった馬鹿親父を探すため、賞金稼ぎになつて旅に出る。武器は細い双剣。2本の剣を舞うように扱い、相手を惑わして斬りかかる。

ホルス

記憶喪失のA級賞金首。無愛想で毒舌な、女顔の美少年（17）。大の男嫌い。細い腕では考えられない程の怪力を持つ。武器は身の丈の倍はある大剣を巧みに扱う。ルミナを最初は男性だと思い込んでいたため、女性だと気づいた途端警戒を緩める。

リスト・ガーナー

自称“紳士”ならしいが、どんな相手であろうが常に上から目線な口調で話し、怪しい雰囲気を漂わせる不気味な奴。ルミナの父親の“親友”と言い張るが……？ 武器は手投げナイフ。どこに隠し持つているかは不明だが、その命中率は恐ろしい程良い。

テルミカ・リー・レベリッタ

レベリッタ王国第1王女、のはずが何故か賞金稼ぎ（の真似事？）

をやついる美少女（16）。正義感が溢れ、常に真っ直ぐな性格。時に馬鹿でドジな場面も見せる。ルミナの姿に騙された中の1人で、一旦惚れまでしてしまい、熱烈な告白をするまでに至ってしまう。武器は身の丈程の棍棒。いらぬ飾りをつけてはいるが、その棍棒さばきはなかなかのもの。

リタ&イダ

A級の賞金首、男女の双子（15）。女の子のリタは、快樂主義で戦闘マニア。男の子のイダは、通常内氣で弱虫だが、自分の血を見ると性格が一変して俺様になる。武器は、リタが2丁の小型銃、イダが鎖鎌。イダが縛り役でリタがどどめ役といったところだろうリタとイダはホルスが記憶喪失になつた訳を知つてはいるようだが……？

ジルダ・ラジスタ

自分を“闇医者”と名乗る謎の青年（23）。研究マニアで、変態、悪戯大好きな性格。リストとはどうやら顔馴染みのようだが……？

“蒼い心色”について研究をしてみたいと考えていた時に、運が悪いことにルミナ達は出会つてしまい、それからはずつとルミナの側から離れようとしている。武器は弓矢。理由は肉体労働が好きではなく、後ろでルミナを観察したいからだとか。

プロローグ

“心色”は、生を受けし時と同時に色をつくる。

『赤』、『青』、『黄』、『緑』……色々な種類の“心色”を、人間・動物・植物等は宿しているのだ。

しかし、唯一『蒼』の“心色”を宿す者は……。

どの“心色”よりも、気高く・美しく・強く、そして……“儚い”。

己を信じ、己を理解し、仲間を裏切ることはない“強き心色”。

しかし、己の命を重要視せぬ“儚き者”。

他の強い“心色”を宿す者、“蒼い心色”を宿す者現れし時、
その者達は確実に囚われるであらう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6529y/>

蒼い心色

2011年11月20日07時22分発行